

平成 26 年度事業報告

【1】公益事業の部

1. 一般研究助成

1. 第34回一般研究助成対象者の発表論文をまとめて「がん治療のあゆみ」第34巻を刊行した。
2. 第35回一般研究助成は、応募件数49課題を審査、10課題を選考した。
3. 第34回研究発表会、第35回一般研究助成贈呈式を開催(2014. 12. 5)。

平成26年度 第35回一般研究助成金受賞者および研究課題は次のとおり。

応募者氏名	応募者所属施設名	研究課題
石山 博條	北里大学医学部 放射線科学(放射線腫瘍学)	前立腺癌に対する少分割強度変調放射線治療の第Ⅱ相試験
板野 理	慶應義塾大学医学部 一般・消化器外科	胆道癌術前化学放射線療法としてのTS-1+CDDP+放射線療法の第Ⅰ/Ⅱ相試験 (多施設共同臨床試験)
里井 壯平	関西医科大学 外科学講座	腹膜転移を有する膵癌に対するS-1+パクリタキセル経静脈・腹腔内併用療法の 治療効果を検証するための第Ⅱ相多施設共同臨床試験
猿田 寛	久留米大学医学部 皮膚科学講座	皮膚血管肉腫に対するバゾパニブを用いた術後補助療法ランダム化比較試験
白石 治	近畿大学医学部 外科	根治切除可能な4型・大型3型胃癌に対する術前TS-1+CDDP併用化学放射線療法の第Ⅰ/Ⅱ相試験
高張 大亮	公益財団法人がん研究会有明病院 消化器内科	HER2陽性切除不能進行再発胃癌に対するS-1+Oxaliplatin+Trastuzumab (SOX+Tmab)併用療法の第Ⅱ相臨床試験
内藤 立暁	静岡県立静岡がんセンター 呼吸器内科	高齢者進行肺がん患者の予後を改善するための新しいリハビリテーション・栄養介入法の開発
西田 純幸	大阪大学医学部附属病院 呼吸器・免疫アレルギー内科	進行膵臓癌に対するゲムシタピン併用WT1ペプチドワクチン化学免疫療法の臨床開発
林 洋光	熊本大学大学院生命科学研究部 消化器外科学	大腸癌肝転移に対するConversion therapy 後の再発予測に関するバイオマーカー研究: 化学療法後残存腫瘍内におけるMIB-1 index の有用性に関する検討
水島 恒和	大阪大学大学院医学系研究科 臨床腫瘍免疫学共同研究講座	高齢者・低身体・生理機能者に対する大腸癌化学療法の安全性に関与する因子の解析

2. 臨床研究

JFMC26-9901：がん緩和医療における全身倦怠感、食欲不振に対するステロイドの有用性の研究

1. 英文論文を発表した。(Palliat Support Care, 2014 Nov 5:1-8. [Epub ahead of print])

JFMC28-0001：切除不能大腸癌肝転移に対する肝動注化学療法(WHF療法)の有効性に関する研究
(第Ⅱ相試験)

1. 英文論文を発表した。(Asia Pac J Clin Oncol, 2015 Mar;11(1):41-8.)

JFMC33-0502: StageⅡB/Ⅲ大腸癌に対する術後補助化学療法としてのUFT/LV経口療法の治療スケジュールに関する第Ⅲ相比較臨床試験

1. 英文論文を作成中。

JFMC34-0601：ホルモン陽性StageⅡ,ⅢA,閉経後乳癌に対するエキセメスタン24週間術前治療の有用性の検討(臨床第Ⅱ相試験)

1. 追跡調査を実施し、記録用紙の回収を行い、データ処理を行った。

JFMC35-C1 (ACTS-RC) (受託試験) : 術後補助化学療法におけるフッ化ピリミジン系薬剤の有用性に関する比較臨床試験 (治癒切除直腸癌に対するUFT療法とTS-1療法との比較検討)

1. 追跡調査を実施し、記録用紙の回収を行い、データ処理を行った。
2. 施設訪問監査を行った。
3. 最終解析を行った。
4. 監査委員会を開催した。(2015. 3. 25)
5. 英文論文を作成中。

JFMC36-0701: 進行・再発胃癌に対するTS-1単独療法/ TS-1+レンチナン併用療法による第Ⅲ相試験

1. 最終解析を行った。
2. 最終報告書を作成した。(2015. 3)
3. 英文論文を作成中。

JFMC37-0801: StageⅢ (Dukes'C) 結腸癌治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのカペシタビンの至適投与期間に関するランダム化第Ⅲ相比較臨床試験

1. 追跡調査を実施し、記録用紙の回収を行い、データ処理を行った。

JFMC37-0801 (付随研究) : 結腸癌術後治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのカペシタビン投与期間延長によるHRQOLおよび医療経済性への影響の調査

1. 追跡調査を実施し、記録用紙の回収を行い、データ処理を行った。

JFMC38-0901: pTNM stageⅡ直腸癌症例に対する手術単独療法及びUFT/PSK療法のランダム化第Ⅲ相比較臨床試験

1. 追跡調査を実施し、記録用紙の回収を行い、データ処理を行った。

JFMC39-0902: 大腸癌術後の消化管機能異常に対する大建中湯 (DKT : TJ-100) の臨床的効果 (プラセボを対照とした多施設二重盲検群間比較試験)

1. 追跡調査を実施し、記録用紙の回収を行い、データ処理を行った。
2. 最終解析を行った。
3. 英文論文を投稿中。(Jpn J Clin OncolよりAccept)

JFMC39-0902 (付随研究) : 大腸癌術後の消化管機能異常に対する大建中湯 (DKT : TJ-100) の臨床的効果 (プラセボを対照とした多施設二重盲検群間比較試験)
付随研究 : 消化管通過時間を指標として

1. 英文論文を投稿中。

JFMC41-1001-C2 (受託試験) : StageⅡ/StageⅢ結腸癌治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法の認容性に関する検討

1. 追跡調査を実施し、EDCによるデータ回収を行い、データ処理を行った。
2. 安全性解析結果検討会を開催した。(2014. 10. 9)
3. 第5回 定期モニタリングレポートを作成した。
4. 英文論文を投稿中。(Cancer Chemother PharmacolよりAccept)

JFMC41-1001-C2 (付随研究) (受託試験) : StageⅡ/StageⅢ結腸癌治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法の認容性に関する検討ーオキサリプラチンの安全性指標に関する策定研究ー

1. EDCによるデータ回収を行い、データ処理を行った。

JFMC42-1002: 開腹下胃全摘術施行後の消化管機能異常に対する大建中湯 (DKT : TJ-100) の臨床的効果～予防的効果に関する探索的検討～ (プラセボを対照とした多施設二重盲検群間比較試験)

1. 学会発表を行った。(DDW2014, 2014. 5. 3～6/第24回 外科漢方研究会学術集会, 2014. 11. 21)

2. 英文論文を投稿中。(J Am Coll SurgよりAccept)

JFMC43-1003: 切除不能進行・再発胃癌症例に対するTS-1の連日投与法および隔日投与法のランダム化第II相試験

1. 追跡調査を実施し、記録用紙の回収を行い、データ処理を行った。
2. 最終解析中。

JFMC44-1101: 治癒切除不能な進行・再発胃癌症例におけるHER2の検討 — 観察研究 —

1. 追跡調査を実施し、記録用紙の回収を行い、データ処理を行った。
2. 英文論文を作成中。

JFMC45-1102: 前治療歴を有するHER2強陽性(IHC3+または、IHC2+かつFISH+) 進行・再発胃癌症例を対象とするトラスツズマブ/パクリタキセル併用療法—第II相試験—

1. 英文論文を作成中。

JFMC46-1201: 再発危険因子を有するStage II 大腸癌に対するUFT/LV療法の臨床的有用性に関する研究

1. EDCによる症例集積を行った。(1534例集積済/目標2820例 2015. 3. 31現在)
2. 第2回 定期モニタリングレポートを作成した。
3. Core Group Meetingを開催した。(2015. 3. 13)

JFMC47-1202-C3 (受託試験): Stage III 結腸癌治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法またはXELOX療法における5-FU系抗がん剤およびオキサリプラチンの至適投与期間に関するランダム化第III相比較臨床試験

1. EDCによる症例集積を行った(1313例集積済/目標1200例 2014. 6. 30登録終了)。
2. 学会発表を行った。(ASCO2014, 2014. 5. 30~6. 3)
3. 第2回 定期モニタリングレポートを作成した。
4. 症例検討会を開催した。(2014. 11. 27)

JFMC47-1202-C3 (付随研究) (受託試験): Stage III 結腸癌治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法またはXELOX療法における5-FU系抗がん剤およびオキサリプラチンの至適投与期間に関するランダム化第III相比較臨床試験 付随研究

1. EDCによる症例集積を行った。(893例集積済/目標1200例 2014. 12. 26登録終了)

JFMC48-1301-C4 (受託試験): 再発危険因子を有するハイリスクStage II 結腸がん治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法またはXELOX療法の至適投与期間に関するランダム化第III相比較臨床試験

1. EDCによる症例集積を行った。(174例集積済/目標500例 2015. 3. 31現在)
2. 学会発表を行った。(ASCO2014, 2014. 5. 30~6. 3)
3. 第1回 定期モニタリングレポートを作成した。

・平成26年度 臨床研究明細一覧は次のとおり。

2015.3.31現在

JFMC	集積期間	追跡期間	登録施設/参加施設	集積数/目標数	現在の状況
26	1999.5-2002.6	-	13/22(59.1%)	35/80(43.8%)	英文論文発表
28	2000.2-2002.3	~2007.3	12/14(85.7%)	77/80(96.2%)	英文論文発表
33	2005.10-2007.9	~2012.9	233/261(89.3%)	1071/840(127.5%)	英文論文作成中
34	2006.3-2007.12	~2018.8	30/37(81.1%)	116/110(105.4%)	追跡中
35-C1	2006.4-2009.3	~2014.3	222/242(91.7%)	961/800(120.1%)	英文論文作成中
36	2007.2-2010.6	~2012.6	97/146(66.4%)	309/300(103.0%)	英文論文作成中
37	2008.9-2009.12	~2014.12	333/410(81.2%)	1306/1200(108.8%)	最終解析中
37付随研究	2009.1-2009.12	~2014.12	48/65(73.8%)	171/300(57.0%)	最終解析中
38	2009.1-2011.12	~2016.12	62/150(41.3%)	111/540(20.5%)	追跡中
39	2009.1-2011.6	~2014.7	51/65(78.5%)	386/400(96.5%)	英文論文投稿中
39付随研究	2009.10-2011.6	-	11/20(55.0%)	88/100(88.0%)	英文論文投稿中
41	2010.11-2012.3	~2015.3	198/257(77.0%)	882/800(110.2%)	追跡中
41付随研究	2011.1-2012.12	-	100/128(78.1%)	486/800(60.7%)	追跡中
42	2011.1-2012.12	~2013.1	40/44(90.9%)	245/240(102.0%)	英文論文投稿中
43	2010.12-2013.3	~2014.3	25/26(96.1%)	132/120(110.0%)	最終解析中
44	2011.9-2012.6	~2015.7	157/200(78.5%)	1466/1200(122.1%)	追跡中
45	2011.9-2012.3	~2013.3	35/165(21.2%)	47/35(134.2%)	英文論文投稿中
46	2012.5-2015.4	~2020.4	305/391(78.0%)	1534/2820(54.4%)	集積中
47	2012.8-2014.6	~2020.6	244/318(76.7%)	1313/1200(109.4%)	集積終了/追跡中
47付随研究	2012.8-2014.12	-	159/244(65.2%)	892/1200(74.3%)	集積終了/追跡中
48	2014.2-2016.1	~2023.1	63/139(45.3%)	174/500(34.8%)	集積中

3. 学術・企画委員会

今期審議事項なし。

4. 臨床試験審査委員会

JFMC36-0701研究報告書（案）について審議した。

5. 倫理委員会

JFMC46-1201研究実施計画書改訂について審議した。

6. 臨床研究開発・推進委員会

第1回臨床研究開発・推進委員会開催（平成27年4月16日）にむけ、臨床研究開発・推進委員会幹事会（6名）を設置し、業務運営の具体化を図るために臨床研究開発・推進委員会内規を作成した。

7. 講演会及び講習会等事業

日本生活習慣病予防協会（理事長 池田義雄先生）と共催で市民公開講座を開催した。市民公開講座開催にあたり、本田麻由美理事から読売新聞社にご協力頂き、読売新聞紙面で開催の広告を頂いた。

日時：平成27年2月4日 13：30～15：45 日比谷コンベンションホール

講演会出席者 127名

当日は、佐治重豊 理事長が座長をつとめ、山岸久一監事より「がん予防に向けての免疫療法の位置付け - がん免疫療法を中心に -」をテーマに講演を行った。

8. 諸事業

がん集学財団ニュース

No.41は記念祝賀会発刊に伴い発刊時期が重複するため、平成27年度にて刊行予定である。

財団諸事業については、当財団ホームページで適宜情報を発信する。